

令和2年8月28日

日本航空大学校
日本航空高等学校石川
保護者 各位

学校法人日本航空学園
理事長 梅沢 重雄

お知らせとご案内

時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げますと共にコロナ禍の下、厳しい生活や経済活動が続いています事、心からお見舞い申し上げます。

さて、下記に最近の学園の状況と取り組み、今後の方針についてお知らせすると共にご案内申し上げます。

記

1. コロナ対策の件

(1) 本学園では全キャンパスに於いて、それぞれの立地条件に基づき、感染対策並びに万が一発生した際のガイドラインを作りこれを徹底しています。

(2) 休校期間中に於いては、オンライン授業を行なって、遅れのないように努力しました。また、長期休暇明け登校についても、配慮し感染防止のガイドラインを作り、これに基づき行なっております。

(3) 特に国土交通省指定養成の整備士教育についても、当局の指導を受けながら調整を行い遅滞なく行っております。

(4) 進路指導については、就職先企業と連絡を取りながら、航空機メーカー関係、機械メーカー等、上場企業関連会社で、新規企業の開拓を行い、新たなる求人を学生に紹介し、徐々にその効果が出ています。

各学校は努力し、学生生徒の将来に心を配っております。

2. 施設設備の件

(1)操縦教育の更なる充実のため、新たに訓練機2機を発注しました。更に充実した操縦科の訓練飛行を実施できるよう準備を行っています。さらにFTD(フライトシュミレーター)を導入し、天候に左右されず地上での操縦訓練も行える予定です。

(2)本学は15年前に石川県では初めて人工芝のサッカー、ラグビー場を整備しました。しかし、年数が経ち傷んだため、コロナによる臨時休校中にサッカー、ラグビー場を最新式の人工芝に取り替え7月から使用しています。

(3)高校校舎、学生校舎一部で雨漏りが発生していたため、休校期間中の学生生徒がいない機会を利用し、大がかりになりましたが、各建物の修理を行いました。学生生徒が3ヶ月も不在になる事は滅多にありませんから、場所によっては思い切って壁を剥いで根本原因の調査を行ったところ、開校当初建設した男子寮、女子寮、校舎の壁の中に、建設会社が処理すべき建設資材の廃材が隠蔽されていました。尚、校舎、寮の設計、施工管理を行なったのは、全て前田建設工業株式会社です。

その中には、雨漏りにより湿気をおびてカビが発生しているものもあり、学校としては業者に発注し、この除去を可能な限り行いました。さらに、産業廃棄物の適正処理について違反の疑いがあるために、国土交通省、環境省、石川県、輪島市当局に、全て写真、資料などを見せ報告いたしました。

また、石川県担当者は、来校し、この状況を実際に見ています。しかしながら、建設して17年経過しており、時効となっているので、学校と建設会社で協議すべき事項という見解でした。

学校法人として、更に各建物を調査し雨漏りと廃棄物との因果関係等を建設コンサルタントにもお願いして調査を進め、設計・施工責任の追及を行う為に、弁護士にお願いし、今後、建設会社の不正を追及し、法的、社会的責任を明らかにする所存です。

これからも学生生徒が安全に快適なる学校生活を送れるよう万全を期して参ります。しかしながら、現状の建設会社は、期待する誠意が無いので残念ですが、司法の場で決着をつけざるを得ません。裁判等になれば、メディアに流れる可能性があります。学園は教育施設におけるこの様な状態を一刻も早く正常にしたいと考えております。

保護者の皆様には御心配をおかけ致しますが、学園は誠意を以てこれを処置し、学生生徒の安全を守り抜く所存です。

取り急ぎお知らせ致します。

以上